

# 読書のすすめ

その 38

H 29

1 / 16

## 2017若い人に贈る読書のすすめ

(公社)読書推進運動協議会(読進協)は「2017若い人に贈る読書のすすめ」推進図書26点を発表しました。これは成人・卒業など、新たな人生の一步を踏み出す若い人にぜひ読んでもらいたい本を紹介するものです。この一年に出版された本の中で、各都道府県の読進協の推薦本から選考されたものです。

- \* 『陸王』池井戸潤(集英社)
- \* 『何様』朝井リョウ(新潮社)
- \* 『さよならクリムソード』額賀澤(文藝春秋)
- \* 『まく子』西加奈子(福音館書店)
- \* 『たまちゃんのおつかい便』森沢明夫(実業之日本社)
- \* 『16歳の語り部』相澤朱音他(ポプラ社)
- \* 『世界一清潔な空港の清掃人』新津春子(朝日新聞出版)
- \* 『18歳からの民主主義』岩波新書編集部(岩波書店)
- \* 『スマホ断食』藤原智美(潮出版社)
- \* 『未到』岡崎慎司(ベストセラーズ)
- \* 『ペンギンのバタフライ』中山智幸(PHP研究所)
- \* 『転換期を生きるきみたちへ』内田樹(晶文社)
- \* 『最強の働き方』ムーギー・キム(東洋経済新報社)
- \* 『投票に行きたくなる国会の話』政野淳子(筑摩書房)
- \* 『人生を変える勇氣』岸見一郎(中央公論新社)
- \* 『夜を乗り越える』又吉直樹(小学館)
- \* 『戦略読書』三谷宏治(ダイヤモンド社)
- \* 『さかなクンの一魚一会』さかなクン(講談社)
- \* 『人をつくることば』大村智(毎日新聞出版)
- \* 『語彙力こそが教養である』斎藤孝(KADOKAWA)
- \* 『戦地の図書館』モリー・グプティル・マニング(東京創元社)
- \* 『学校では教えてくれないゆかいな日本語』今野真二(河出書房新社)
- \* 『池上彰の君たちと考えるこれからのこと』池上彰(日本経済新聞出版社)
- \* 『翻訳できない世界のことば』エラ・フランシス・サンダース(創元社)

※図書館で所蔵しているのは8冊のみですが、他は年度内にそろえたいと思います。

## 図書委員中央研修会に参加して(感想)

12月15日の研修会では、本校が全体会の司会・進行と分科会を担当しましたが、他校の分科会に1年次生3名が参加しました。

**坂本遥香さん(第1分科会・おすすり本のPOPを作ろう! || 高萩清松高校)**

全体会の読書感想文発表は三人の作品ともとてもレベルが高く、すごく驚きました。また、下館工業高校の図書委員の発表を聞いて、図書委員会活動が活発ですばらしいと思いました。とても有意義な時間を過ごさせてうれしかったです。

**山中真里奈さん(第4分科会・NDCって何だろう?)**

|| 水戸工業高校

今回参加した分科会で、夏の書架整理(蔵書点検)の時にわからなかったNDCについて理解することができました。また、他校の人たちとの意見交換では、様々な図書委員活動を聞くことができ参考になりました。ビブリオバトルの決勝では本の紹介が面白く、初めて知る本だったので聞いていて楽しかったです。とても勉強になり、参加して良かったです。

**酒井二千香さん(第9分科会・さわれる絵本を作ろう || 荃崎高校)**

いろいろなことを学ぶことができた一日でした。最優秀賞に選ばれた人の感想文を本人の朗読で聞くことができたり、NDCについて、他校の図書委員さんの発表で詳しく知ることができたことは本当に良かったです。分科会の体験も貴重なもので、また来年も参加したいと思います。

**参加者の活動の様子を写真展示(図書館前)しています!**



蠟梅(ろうばい)の花